

2017

全学共通教育プログラム

手引き 2017

地域産業 イノベーション学

この1冊で
新しい
教育プログラムが
分かる!!

地域産業をイノベーション!
新しい価値を生み出し、地域産業に大きな変化を生み出す



CHIBA
UNIVERSITY

千葉大学

全学共通教育プログラム

地域産業イノベーション学 手引き 2017

産業イノベーションで
ローカルを元気に

地域産業イノベーション学とは

千葉大学は、平成27年度の文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択され、「都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業」を開始しました。この事業では、平成28年度より副専攻（マイナー）プログラム「地域産業イノベーション学」を設置し、修了証書取得要件で定められている単位を修得した学生に修了証書を発行します。

産業イノベーションで ローカルの未来をつくる

「地域産業イノベーション学」は、学生の主専攻である学部でのそれぞれの専門性をもちながら、地域産業やイノベーションに関する幅広い教養と、地域再生の知識、実践力を備え、大学、自治体、企業などの立場から地域産業をイノベーションする人材を育成する副専攻（マイナー）プログラムです。地域とは何か、地域産業の課題や展望はどのようなものか、それらに新しい価値を付けて産業振興するにはどのようなアプローチが考えられるかなど、自らがイノベーションを興す力を身に付けます。

新しい教育プログラム —地域産業イノベーションを学んだ証明—

「地域産業イノベーション学」は、普遍教育科目と学部の専門教育科目を横断する全学共通教育プログラムです。今年度から新たに開始されます。普遍教育科目では、教養コア科目、教養展開科目の中に、「地域産業イノベーション学」を構成する科目が指定されています。修了証書取得要件で定められている単位を修得した学生に修了証書を発行します。

普遍教育と専門教育を横断する全学共通教育プログラムにより、
地域産業をイノベーションで世界展開させる
課題発見力、課題解決力、実践力、コミュニケーション力を築きます。

地域産業イノベーション学 30 単位

普遍教育科目

地域と暮らし（地域コア）
（必修）

講義・体験型科目
教養展開

PBL・実習型科目
教養展開（地域コア関連）

地域づくり、地域産業、イノベーションの基礎・理論、スキル、体験を学ぶ



専門教育科目

所属学部・他学部の地域産業イノベーションに関する専門教育科目
すべての学生が履修できる全学共通科目があります

わたしたちが目指すのは、ローカルの未来づくり

産業振興の
プロフェッショナル

地方創生の
スペシャリスト

職業イメージ（例）

公務員	地域と向き合う地方公共団体の産業振興部門	シンクタンク	地域再生や地方創生の政策提言
6次産業化プランナー	産業のニーズに応じたアドバイスやビジネス提案	コンサルタント	産業イノベーションの企画や計画
地域企業	地域で活躍する企業を活性化	研究者	理論系、政策系、現場研究系で後押し
ベンチャー起業	6次産業や新観光等を自ら創業し雇用を創出	まちづくり会社	NPOや組織で活躍

ほしい未来を自分でつくる！

「都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業」とは

千葉県は人口が流入する都市圏と、人口が流出する地方圏に二分されており、東京への一極集中によって地方圏では若年層の人口減少や地域産業の衰退が引き起こされています。そこで、千葉大学では、千葉地方圏の自治体や企業と協働し、学生にとって魅力ある職づくりと地域に定着するための教育プログラム開発を目的とした「都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業」を開始しました。本事業は、大学や都市の研究シーズを地方に還流し、千葉県内の大学、自治体、企業等の連携によって、地域産業にローカル・イノベーションを興す「ローカル・イノベーション集積タウン」を形成することを目標としています。取組みの拠点として、専任教員と協力教員で構成されたコミュニティ・イノベーションオフィス地域イノベーション部門を設置しました。また、重点モデル地域には、ローカルハブを新設し、PBL学習や産業振興の拠点として活用します。

履修開始から 修了証書取得までの流れ

1 「地域産業イノベーション学 手引き」を入手 4月/10月

地域産業イノベーション学の指定科目は、開講状況等により変更されることがあります。
各年度の冊子を手に入れ、履修を進めましょう。

2 履修計画を立て、「修了証書の取得申請・登録」と「各科目の履修登録」をする 4月/10月

地域産業イノベーション学の内容と修了証書取得要件を確認してください。
指定されている科目一覧から、卒業までに必要な単位数を修得する計画を立ててください。

地域産業イノベーション学の履修登録

在学中に地域産業イノベーション学の修了証書を取得する場合は、事前に履修登録が必要になります。履修登録によって、地域産業イノベーション学の履修カードを発行します。また、関連する情報の取得や相談等を受けられるようになります。

■履修登録の方法

履修登録は「千葉大学Moodle※」を用いて行います。http://moodle.chiba-u.jp/moodle/ にアクセスし、「コースカテゴリ」→「全学共通教育プログラム」→「地域産業イノベーション学」を選択します。ガイダンスで提示する登録キーを入力し、簡単な質問に回答すると、登録が完了します。登録キーは「地域産業イノベーション学」履修ガイダンス（22ページ参照）でお知らせします。

■履修登録期間

前期：4月10日～5月31日 後期：10月2日～11月30日
※Moodleの利用方法は、「千葉大学Moodle利用ガイド（学生版）」を読んでください。

それぞれの科目の履修登録

授業科目の履修登録は、各自、通常のウェブ登録で行ってください。ただし、「地域志向型インターンシップ」と「地域NPO活動体験」は、ウェブ登録はせずに、「地域NPO活動体験／地域志向型インターンシップ」合同履修ガイダンス（22ページ参照）に参加して手順を確認してください。学部専門教育科目の履修登録については担当教員に相談してください。

3 履修計画に沿って履修 30単位 1年次～4年次

4 地域産業イノベーション学の修了証書の申請 学部卒業時

地域産業イノベーション学の修了証書の取得を希望する学生は、卒業年次の所定の期間に認定申請を行ってください。認定申請の方法については、後日ウェブで掲載予定です。

5 地域産業イノベーション学の修了証書の取得 学部卒業時

地域産業イノベーション学の取得要件を満たし、かつ所定の申請手続きを行った学生は、卒業時に修了証書を取得できます。

注記 ○履修科目登録単位数の上限設定及び早期卒業を実施している学部がありますので、詳細は所属学部で確認してください。
○「修了証書取得要件表」の各科目種別の単位数を合計しても、修了証書取得要件の総単位数とは一致しません。
これは、科目種別ごとの履修単位には選択の自由があり、個人によって修了証書の取得要件の満たし方が異なるためです。

地域産業イノベーション学の 修了証書取得要件

副専攻（マイナー）プログラムの修了証書の取得要件は、各学部の卒業要件として修得しなければならない単位数とは異なります。「修了証書の取得要件表」に定められた科目区分に属する科目を、取得要件に応じて30単位取得することが必要です。

修了証書の取得要件表

科目種別				必要単位数	備考	
普通教育科目	必修	講義型	地域と暮らし	8ページ	1	地域に関する必修科目です。普遍教育教養コア（地域コア：地域と暮らし）科目に該当します。4年生以上は取得する必要はありません。
			地域づくりを学ぶ	9ページ	4～10	地域づくりに関する基礎的な科目です。普遍教育教養展開地域コア関連科目および敬愛大学・放送大学開講科目に該当する科目があります。
	選択	講義・体験型	千葉を知る	9ページ	2～4	千葉に関する基礎的な科目です。普遍教育教養展開科目および敬愛大学開講科目に該当する科目があります。
			産業イノベーションを考える	10ページ	4～10	産業やイノベーションに関する基礎的な科目です。普遍教育教養展開科目および敬愛大学・放送大学開講科目に該当する科目があります。
			スキルを学ぶ	11ページ	2～6	地域づくりや産業イノベーションに資するスキル取得のための科目です。普遍教育教養展開科目および敬愛大学・放送大学開講科目に該当する科目があります。
			PBL（プロジェクト・ベースト・ラーニング）	12ページ	4～8	地域産業イノベーションに関するプロジェクトベース・実習型の科目です。普遍教育教養展開地域コア関連科目に該当する科目があります。
	カレッジリンク・プログラム	13ページ				
	地域活動体験	14ページ				
	インターンシップ	14ページ				
	専門教育科目		地域産業イノベーションに関する専門内容	16ページ	2～10	各学部の専門科目に該当する科目があります。
修了証書取得要件				計30		

（注意）入学年度が2015年以前に入学した学生は、必修「地域と暮らし（地域コア）」の1単位を除く計30単位の取得が必要です。

修了証書 地域産業イノベーション学の修了証書は、地域産業の未来をつくる人材として活躍するための知識を得た証明として、千葉大学が必要単位を修得した学生の皆さんに発行するものです。卒業時に、学位記とともに取得できます。また、3年次終了までに取得要件を満たしている場合は、「取得見込み証明書」を発行します。

履修案内 地域産業イノベーション学を構成する授業科目の履修は、原則として、その科目が属する科目区分での履修方法に準じます。そのため、授業の履修にあたっては、『Guidance 2017』またはその科目が開講されている学部の『履修案内』を確認してください。

普遍教育科目（講義・体験型）指定科目

指定科目は、教養コア科目（地域コア：地域と暮らし）、教養展開科目の一部（地域産業イノベーション学の趣旨と合致したもの）、敬愛大学および放送大学の指定科目から構成されています。

普遍教育科目（講義・体験型）指定科目

教養コア科目（地域コア：地域と暮らし）

2017年度1年生対象

1
単位

自らが社会の一員として、地域とは何か、地域にはどのような課題や問題があるか、どのような解決事例があるかなどを学びます。

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類
団地再生まちづくり	1	T4	木4	国	鈴木雅之	1ZE (小以外) T化環M	地コ
地域の地学的背景を知る	1	T4	木4	理	宮内崇裕		
エコまちづくり	1	T4	木4	工	田島翔太		
チームで取り組む地域活動入門	1	T4	木4	看	石丸美奈・他	1E小S	
女性の安全な人間関係と地域での被害者支援	1	T4	木5	医	清水栄司		
地域で変わる・地域を変える交通概論	1	T4	木5	高	加藤美栄		
地域づくりと地方の再生	1	T4	木5	園	齋藤雪彦		
まちづくりと地域財政	1	T4	木5	法	大塚成男	1LHP	
サイエンス、アートと地域社会	1	T5	月1	教	縣拓充		
大学と地域の共創まちづくり	1	T5	月1	工	上野武		
地域振興とデザイン	1	T5	月1	工	今泉博子		
まち・ひと・しごと創生	1	T5	月1	高	阿部厚司	1T電情建 デN	
健康都市・空間デザイン論	1	T5	火2	予	花里真道		
地域とNPOの社会学	1	T5	火2	文	清水洋行		
地域づくりとアートマインド	1	T5	火2	教	神野真吾		
地域に住まう	1	T5	火2	工	小林秀樹	1BT 機物	
超高齢社会論	1	T5	木5	病	井出博生		
公共施設の再編・利活用	1	T5	木5	工	柳澤要		
未定	1	T5	木5	未定	未定		
地方の地域づくり	1	T5	木5	国	和田健		

所属凡例 国：国際教養学部 理：理学研究科 病：医学部付属病院 看：看護学部 医：医学研究科・医学部
工：工学研究科 教：教育学部 文：文学部 予：予防医学センター 高：高等教育研究機構 法：法政経学部
分類凡例 地コ：地域コア

地域づくりを学ぶ

4~10
単位

地域に関する基礎的な科目です。地域とは何か、地域にはどのような課題や問題があるか、どのような解決事例があるかなどを学びます。自らが地域の課題を解決する力を身に付けるために必要な基本的な考え方を学びます。

普遍教育教養展開科目

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類
地域の再生	1	T1	木4	国	鈴木雅之		地
超高齢社会の地域づくり	1	T1	火4	国	鈴木雅之		地
共生環境のまちづくり	2	T1-2	水4	工	樋口孝之		地
地域を共につくる	2	T1-2	火2	工	佐藤公信		地
人口減少時代と地域	1	T2	火4	工	田島翔太		地
地方創生を語る	1	T2	木4	国	鈴木雅之		地
地方創生の実務現場 A	1	T2	金4	社	小川真実		キャ
地方創生の実務現場 B	1	T5	金4	社	小川真実		キャ
地方創生の実務演習	2	T1-6	集中	社	小川真実		キャ
地方創生の実務実習	2	T3	集中	社	小川真実		キャ

所属凡例 国：国際教養学部 工：工学研究科 社：社会科学研究院 分類凡例 地：地域コア関連 キャ：キャリアを育てる

敬愛大学開講科目

地方財政論 I	地方財政論 II
---------	----------

放送大学開講科目

人口減少社会の構想	ソーシャルシティ
安全・安心と地域マネジメント	

千葉を知る

2~4
単位

千葉に関する基礎的な科目です。千葉の地域の概要だけでなく、課題やポテンシャルについてさまざまなテーマで考えます。

普遍教育教養展開科目

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類
千葉の地域を知る	2	T4-5	木2	国	鈴木雅之		地
観光を考える	2	T4-5	水2	工	植田憲		地
千葉県の産業	1	T2	木2	工	田島翔太		地
ひととみどりをつなぐ	2	T1-6	集中	園	三島孔明	松戸開講	環

所属凡例 国：国際教養学部 工：工学研究科 園：園芸学研究科
分類凡例 地：地域コア関連 環：環境コア関連

敬愛大学開講科目

地域企業経営論／千葉学特講

普遍教育科目（講義・体験型）指定科目

産業イノベーションを考える

4~10
単位

産業やイノベーションに関する基礎的な科目です。地域産業とは何か、地域産業にはどのような課題や問題があるか、イノベーションによってどのような解決事例があるのかなどを学びます。自らが地域産業の課題をイノベーションによって解決する力を身に付けるために必要な基本的な考え方を学びます。

普遍教育教養展開科目

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類
地域における起業を語る	1	T5	火4	工	田島 翔太		地
地域ベンチャー起業論	1	T4	火4	工	田島 翔太		地
地域課題を解決する農業イノベーションの未来	1	T1	木2	高	加藤 美栄		地
科学技術の発達と生命倫理	2	T1	水3-4	予	藤田 伸輔		論
現代医学	2	T1-2	金4	医	小林 欣夫	1年生対象	生
製品デザイン論	2	T4-5	木2	工	Ueda Edison Shindi・他		文
緑と食の環境問題	2	T4-5	水5	園	小林 達明・他	松戸開講 遠隔授業	環
世界の中の日本、日本の中の世界	1	T5	月2	国	崎山 直樹		国
グローバル人材育成と留学	1	T1	金5	高	織田 雄一		国
日本人の国際倫理	1	T2	月3	国	崎山 直樹		国
実務家によるキャリア・デザイン入門1	1	T1	金4	社	小川 真実		キャ
実務家によるキャリア・デザイン入門2	1	T4	金4	社	小川 真実		キャ
実務家によるキャリア・デザイン演習A	2	T3	集中	社	小川 真実		キャ
実務家によるキャリア・デザイン演習B	2	T6	集中	社	小川 真実		キャ
バイオエナジー入門	1	T3	集中	国	高垣 美智子		環
インクルーシブ・ビジネス入門	1	T3	集中	国	永瀬 彩子		地
フード・システム・サービス・デザイン入門	1	T6	集中	国	永瀬 彩子		地
健康と医療の日本文化	2	T1	月4-5	国	GAITANIDIS IOANNIS		国

所属凡例 国：国際教養学部 予：予防医学センター 普：普遍教育センター 医：医学研究院・医学部
工：工学研究科 園：園芸学研究科 高：高等教育研究機構 社：社会科学研究
分類凡例 地：地域コア関連 論：論理コア関連 生：生命コア関連 文：文化コア関連 環：環境コア関連 国：国際コア関連 キャ：キャリアを育てる

敬愛大学開講科目

ベンチャービジネス論	観光事業論Ⅰ
地域産業論	観光事業論Ⅱ
中小企業論Ⅰ	経営立地論
中小企業論Ⅱ	

放送大学開講科目

グローバル化とものづくり	
--------------	--

スキルを学ぶ

2~6
単位

地域産業イノベーションの課題や問題を解決するために習得しておいた方がよいスキルがあります。在学中に学ぶことで、社会に出て活躍するまでの期間を短縮できます。

普遍教育教養展開科目

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類
地域づくりの道具	1	T5	木4	国	鈴木 雅之		地
経済学C	2	T1-2	水4	園	小林 弘明	松戸開講	論
経済学D	2	T1-2	金5	*	落合 勝昭	A総以外	論
実務家による金融基礎知識	2	T1-2	火3	社	大鋸 崇	寄附講義	論
プレゼンテーション演習	2	T4-5	火4	統	全 へい東		リ
思考とコミュニケーションのプラクティス	2	T4-5	火4	*	永本 義弘		リ
対人コミュニケーション演習	2	T1-2	木2	*	堂山 智子	1年生対象	リ
文献との対話	1	T4	月2	人	竹内 比呂也・他		リ
文章表現演習	2	T1-2	木3	国	佐藤 尚子	1年生対象	リ
理系の作文とプレゼンの学習法	2	T1-2	月3	工	斎藤 恭一		リ
大学生のためのライティング基礎(1)	1	T1	水5	人	石井 正人	1年生対象	リ
大学生のためのライティング基礎(2)	1	T4	水5	人	石井 正人	1年生対象	リ
大学生のためのプレゼンテーション基礎(1)	1	T2	水5	人	石井 正人	1年生対象	リ
大学生のためのプレゼンテーション基礎(2)	1	T5	水5	人	石井 正人	1年生対象	リ
地域を知り、地域で企画するB	2	T5	金2	国	和田 健	寄附講義	キャ
デザイン・シンキング入門	1	T6	集中	国	渡邊 誠		キャ
統計学A(1)(展開)	2	T1-2	金1	*	澁谷 幹夫		自
統計学A(2)(展開)	2	T4-5	月3	理	汪 金芳		自
統計学A(3)(展開)	2	T4-5	金1	理	井上 玲		自
情報科学概論A	1	T4	水1	理	松元 亮治		自
情報科学概論B	1	T5	水1	理	松元 亮治		自

所属凡例 国：国際教養学部 社：社会科学研究院 園：園芸学研究科 *：非常勤講師 人：人文社会科学研究科 統：統合情報センター
工：工学研究科 理：理学研究院
分類凡例 地：地域コア関連 論：論理コア関連 リ：コミュニケーションリテラシー キャ：キャリアを育てる 自：自然科学を学ぶ

敬愛大学開講科目

流通経営論	ホスピタリティ
マーケティング論	

放送大学開講科目

社会調査の基礎	マーケティング論
ファイナンス入門	問題解決の進め方
身近な統計	ケースで学ぶ現代経営学

PBL (プロジェクト・ベースト・ラーニング)

地域や産業に関わる実習型の科目です。具体的なプロジェクトを通して、地域産業の課題や問題に取り組みます。活動のテーマやプロジェクトの企画について、学生の皆さんが自ら提案し、事業計画、活動計画を立てて実践します。一連の授業を通して、自らが地域産業にイノベーションを興す専門人材として何が出来るかを学習します。

なお、地域産業イノベーション学では「グラデーション定着学習(※)」を推奨しています。初年度は主に講義型科目を通じて地域づくりや地域産業について学び、次年度以降は実際に地域に出て活動する演習型のPBL科目へと展開していくことになります。

普遍教育教養展開科目

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類
ローカル・プロジェクト実習	2	T1-6	集中	国	鈴木 雅之		地

所属凡例 国：国際教養学部
分類凡例 地：地域コア関連

※グラデーション定着学習

地域産業イノベーション学で導入されている「グラデーション定着学習」とは、学生の皆さんが地域に徐々に定着し活躍するように、年次(ステップ)ごとに地域と関わっていく濃度を変える仕組みです。例えば、以下のようなステップが考えられます。



第1ステップ (1年次)

地域づくりや千葉の地域を知る講義(座学)を履修し、基礎的な知識を身に付けます。



第2ステップ (2年次)

地域での1~2日の体験学習やワークショップに参加し、短期間のPBL型学習に取り組みます。



第3ステップ (3年次)

夏季休暇や空いているタームを使って、地方公共団体、NPO、地元企業などでの研修やプロジェクト実習に参加し、地域をより深く学びます。



第4ステップ (4年次)

これまで得た経験や知識をもとに、自ら地域で具体的な取り組みにチャレンジします(チャレンジワーク)。

カレッジリンク

カレッジリンクとは、大学(カレッジ)と地域社会が組織的に連携(リンク)し、年齢に関わらず地域の誰もが大学とともに学びあう機会を創出する新しい学習プログラムです。この科目では、市民と学生と一緒に受講し、地域の課題や問題を自分たちで考えるだけでなく、他人とディスカッションすることで客観的かつ俯瞰的にものごとを捉える能力を身に付けます。2017年度の詳しい内容は、「カレッジリンク@千葉B」履修ガイダンスで説明します。

普遍教育教養展開科目

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類
カレッジリンク@千葉B	2	T4-6	集中	国	鈴木 雅之		地

所属凡例 国：国際教養学部
分類凡例 地：地域コア関連



カレッジリンク@千葉B

千葉の地方圏を対象として、地域課題解決のための企画・提案を行う授業です。地域を実際に見て、どのような課題があるか発見し、グループワークでディスカッションしながら課題解決のための企画を考えます。授業の詳しい内容は、「カレッジリンク@千葉B」履修ガイダンスで発表します。

2016年度開講科目の内容



カレッジリンク@千葉B (長柄町版カレッジリンク)

例「生涯学習がうけられるまちづくり」

長柄町にある「リソル生命の森」を舞台に、1泊2日の合宿型の授業をおこないました。長柄町では、COC+事業の一環として、都市圏の元気な高齢者を移住させ健康に暮らしていく「生涯活躍のまち」事業を進めています。そのテーマの1つである生涯学習に着目し、「健康」や「学び」をテーマに幅広く議論し、企画を立てました。

「カレッジリンク@千葉B」
履修ガイダンス

日時：2017年4月27日(木)・28日(金)
いずれも12:10~12:40(ランチ持参可)
場所：総合校舎 G4-54

地域活動体験／インターンシップ

地域活動体験やインターンシップ研修を通して、体験的に地域社会の課題やニーズを知り、取り組みの意味を理解します。また、活動体験を通じて、地域に対する自分の可能性を発見します。詳しくは、「地域NPO活動体験／地域志向型インターンシップ」合同履修ガイダンスで説明します。

普遍教育教養展開科目

授業科目	単位	期別	曜日時限	所属	担当教員	対象学科等	分類
地域 NPO 活動体験	2	T1-6	集中	国	鈴木 雅之		地
地域志向型インターンシップ	2	T1-6	集中	国	鈴木 雅之		地
グローバルボランティア（地域）	2	T1-6	集中	工	田島 翔太		キャ
グローバルボランティア事前学習	1	T2	木6	国	佐々木 綾子		キャ

所属凡例 国：国際教養学部 工：工学研究科
 分類凡例 地：地域コア関連



地域 NPO 活動体験（地方コース）

地域づくりに携わるNPO等にボランティアとして参画し、地域活動や市民団体の役割とその実践について学びます。そして、地域づくりのためにできることや、地域づくりの担い手に必要なことを具体的に掘り下げ、理解を深めます。地域活動を体験することで、地域づくりについての理解を深め、その後の勉学への取り組み方を発見します。
 単位取得にはNPO等で50時間以上のボランティア活動が求められます。また、事前学習、中間報告、事後学習への参加が義務付けられます。派遣先の候補として、地域で都市生活者向けに農業体験を実施している団体や、移住・定住に取り組む団体等があります。



地域志向型インターンシップ（地方コース）

自治体や企業等における地域づくりに関わる就業体験を通して、地域づくりに関連した知識や理解を深めるとともに、将来の職業選択における自らの適性や能力を考えます。また、組織・団体等の実態に触れることにより、就業時のミスマッチを防ぎます。
 単位取得には自治体・企業・団体等で40時間以上のインターン研修が求められます。また、事前学習、中間報告、事後学習への参加が義務付けられます。派遣先の候補として、地方創生に取り組む自治体の関係部署等があります。

グローバルボランティア（地域）

派遣先のうち、特に国際交流に関連する団体で活動します。授業内容は「地域NPO活動体験」と同じですが、「グローバルボランティア事前学習（T2・木6・1単位）」の履修が必須となります。詳しくはガイダンスで説明します。

「地域 NPO 活動体験／
 地域志向型インターンシップ」
 合同履修ガイダンス

日 時：2017年4月24日(月)・25日(火)・26日(水)
 いずれも12:10~12:40（ランチ持参可）
 場 所：総合校舎 G4-54

履修の注意点

「地域NPO活動体験」および「地域志向型インターンシップ」は、通常の科目履修と方法が異なるため、ウェブ上での履修登録は行わないでください。詳しくは、「地域NPO活動体験／地域志向型インターンシップ」合同履修ガイダンスで説明します。

履修の流れ

- 4月～5月** **ガイダンス開催**
 科目の説明を行いますので、履修を考えている人は参加するようにしてください。
- 5月～6月** **募集・選考**
 募集要項を入手し、エントリーシートを提出します。書類による選考を行います。
- 6月** **事前学習**
 派遣先で必要となるマナー講習を実施します。また、それぞれの目標や自己分析を行います。
- 6月～7月** **プログラム調整**
 派遣先によっては事前に面談や打合せが必要になります。各自で連絡を取り合い、日程調整をします。
- 8月～12月** **派遣先での活動**
 それぞれの地域NPO活動体験や地域志向型インターンシップを派遣先で実施します。活動の日程はそれぞれの派遣先によって異なります。
- 10月** **中間報告**
 ワークショップ形式で、それぞれの体験内容を他の学生と共有します。
- 12月～1月** **事後学習**
 各自で振り返りを行い、報告書として提出します。
- 3月** **単位取得**
 必要な書類を提出することで、単位が付与されます。



各学部の専門科目に地域産業イノベーション学の指定科目が置かれています。各学部が、地域産業イノベーション学の趣旨に合う科目を指定しています。全学共通科目では、他学部の学生も履修することができます。

専門教育の指定科目には、すべての学生が履修できる全学共通科目と、所属学部の学生のみが履修できる所属学部生限定科目があります。科目ごとに履修条件等が異なりますので、履修の際は注意してください。合計10単位までが修了証書取得要件の単位として認定されます。

全学共通科目

すべての学部の学生が履修できる科目です。ただし、受け入れ人数など条件がある場合があるので、各学部のシラバスなどを確認し、必要に応じて担当教員に相談してください。

文学部

授業科目	担当教員
医療と福祉の社会学 a	鶴田 幸恵
地域社会学 b	清水 洋行
社会調査概説 a	児玉 香菜子
フィールド調査法演習 a	児玉 香菜子

法政経学部

授業科目	担当教員
マーケティング論	佐藤 栄作
産業組織論 I	岸本 信
産業組織論 II	岸本 信

工学部

授業科目	担当教員
環境ビジネス	木村 諭史

園芸学部

授業科目	担当教員
バイオエンジニアリング	彦坂 晶子
ポストハーベスト工学	椎名 武夫
農産食品工学	小川 幸春・他
バイオインフォマティクス	高橋 広夫
食品衛生学	江頭 祐嘉合・他
食品製造実習	園田 雅俊
フィールドコラボレーション	百原 新
園芸療法論	岩崎 寛
環境健康学実習 I	三島 孔明・他
環境健康学実習 II	三島 孔明・他
地域再生計画学	齋藤 雪彦
地域看護学	宮崎 美砂子・他
農村計画学	木下 勇
風景計画学	古谷 勝則・他
緑地福祉学	岩崎 寛
フードシステム学	櫻井 清一
食品産業組織論	石田 貴士

薬学部

授業科目	担当教員
薬剤師と地域医療	佐藤 信範・他

所属学部生限定科目

所属学部の学生のみが履修できる科目です。

国際教養学部

授業科目	担当教員
国際教養学入門	小澤 弘明・他
人文社会科学基礎	泉利 明
自然科学基礎	串田 正人・他
現代日本論	見城 悌治
現代日本課題演習	和田 健他・他
プレゼンテーションメソッド	吉野 文
質的調査法 II	福田 友子
量的調査法 II	白川 優治
フィールド・スタディ II	高垣 美智子・他
地域 PBL 型実習 II	鈴木 雅之
工業デザイン	渡邊 誠
製造業とサービス	渡邊 誠
コミュニケーションデザイン	Paskevicius Algirdas
クールジャパン論	池田 忍・他
日本の食文化	和田 健
ポピュラーカルチャー論	石井 正人
地方創生論	清水 洋行
地方創生マネジメント	鈴木 雅之
現代家族論	米村 千代
千葉学	見城 悌治
経済政策と科学技術	神里 達博
映像表現技術	田中 緑
ビッグサイエンス	河合 秀幸
地域医療	山口 智志
健康科学論	小泉 佳右
サイエンスコミュニケーション論	永瀬 彩子
サイエンスカフェ	三野 弘文
技術移転論	中原 秀登

法政経学部

授業科目	担当教員
経営学総論 I	中原 秀登
経営学総論 II	中原 秀登

医学部

授業科目	担当教員
医療情報経済学	鈴木 隆弘
地域医療実習 (公衆衛生学実習)	羽田 明

看護学部

授業科目	担当教員
訪問看護学概論	諏訪 さゆり・他
訪問看護実習	諏訪 さゆり・他
社会資源と看護マネジメント	諏訪 さゆり・他
訪問看護統合実習	諏訪 さゆり・他
地域看護学概論	宮崎 美砂子・他
地域看護方法	宮崎 美砂子・他
老人看護学概論	正木 治恵・他
地域看護統合実習	宮崎 美砂子・他
老人看護統合実習	正木 治恵・他
精神・地域看護活動展開実習	宮崎 美砂子・他

敬愛大学指定科目の履修方法

千葉大学は、神田外語大学・敬愛大学・城西国際大学との間で「千葉圏域コンソーシアム」を形成し、単位互換協定書を取り交わしています。各大学の開放科目について、「特別聴講学生」となって単位を修得すれば、普遍教育科目等の単位として認定されます。

地域産業イノベーション学では、敬愛大学が開講する科目のうち、指定された科目において地域産業イノベーション学の「修了証書の取得要件表」に定められた科目区分に属する科目として単位が認められます。

また、希望する学生は、敬愛大学の「エアポートNARITA地域産業学」の副専攻履修学生として登録し、所定の単位を修得することで、履修証明書の発行を受けることができます。敬愛大学指定科目の詳しい内容および「エアポートNARITA地域産業学」については、敬愛大学修学支援室までお問い合わせください。

(敬愛大学 修学支援室 住所：263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21 電話：043-251-6363)

履修希望者は、教務課普遍教育窓口(総合校舎 G1・1階)にて手続きを行ってください。

出願期間のめやす

前期：前年度の3月頃
後期：8月下旬～9月頃

対象学生

前期：2～4年次学生(受付時1～3年次)
後期：1～3年次学生

授業料等

検定料・入学科・授業料は徴収されません。
教材などが必要な場合は各自で負担してください。

その他

各科目の詳しい内容は、敬愛大学ホームページよりシラバスを確認してください。

地域産業イノベーション学で指定されている敬愛大学開講科目

地方財政論Ⅰ	観光事業論Ⅰ
地方財政論Ⅱ	観光事業論Ⅱ
地域企業経営論/千葉学特講	経営立地論
ベンチャービジネス論	流通経営論
地域産業論	マーケティング論
中小企業論Ⅰ	ホスピタリティ
中小企業論Ⅱ	

放送大学指定科目の履修方法

千葉大学は、放送大学との間で「千葉大学と放送大学の間における単位互換に関する協定書」を取り交わしています。この協定書及び同協定書の「覚書」に基づき、本学の指定した科目について、放送大学の「特別聴講学生」となって単位を修得すれば、放送大学での成績によって普遍教育科目等として評価されます。放送大学の講義は自宅テレビ、ウェブにて学ぶシステムです。

地域産業イノベーション学における放送大学指定科目を履修することによって、「修了証書の取得要件表」に定められた科目区分に属する科目として単位が認められます。履修希望者は、出願期間内に、教務課普遍教育窓口(総合校舎G1・1階)で特別聴講学生出願表を受け取り、必要事項を記入し提出してください。(放送大学学生証用に写真が必要です)

放送大学指定科目の詳しい内容は、教務課普遍教育窓口に確認してください。

履修期間

第1学期(前期)：4月～9月
第2学期(後期)：10月～翌年3月

特別聴講学生の出願についての掲示

第1学期(前期)：前年度の1月頃
第2学期(後期)：当該年度の7月頃

対象学生

第1学期(前期)：2～4年次学生(受付時1～3年次)
第2学期(後期)：1～3年次学生

授業料

11,000円/1科目

地域産業イノベーション学で指定されている放送大学開講科目

人口減少社会のライフスタイル	身近な統計
人口減少社会の構想	ソーシャルシティ
社会調査の基礎	マーケティング論
ファイナンス入門	ケースで学ぶ現代経営学
グローバル化とものづくり	安全・安心と地域マネジメント

時間割

履修計画の参考として、2017年度普遍教育指定科目の時間割を掲載しています。

凡例 ●地域づくりを学ぶ ■千葉を知る ▲産業イノベーションを考える ▼スキルを学ぶ ★PBL・実習

	月	火	水	木	金
1					▼統計学A(1)(展開)
2		●地域を共につくる		▲地域課題を解決する産業イノベーションの未来 ▼対人コミュニケーション演習	▼会計学A
3	▼理系の作文とプレゼンの学習法	▼実務家による金融基礎知識	▲科学技術の発達と生命倫理	▼文章表現演習	
4	▲健康と医療の日本文化	●超高齢社会の地域づくり	▲科学技術の発達と生命倫理 ▼経済学C ●共生環境のまちづくり	●地域の再生	▲現代医学 ▲実務家によるキャリア・デザイン入門1
5	▲健康と医療の日本文化		▼大学生のためのライティング基礎(1)		▼経済学D ▲グローバル人材育成と留学
集中	★カレッジリンク@千葉B (T4～6)				

	月	火	水	木	金
1					▼統計学A(1)(展開)
2	▼文献との対話	●地域を共につくる		▼対人コミュニケーション演習 ■千葉県の産業	▼統計学A(3)(展開)
3	▼理系の作文とプレゼンの学習法 ▲日本人の国際倫理	▼実務家による金融基礎知識		▼文章表現演習	
4	▲健康と医療の日本文化	●人口減少時代と地域	▼経済学C ●共生環境のまちづくり	●地方創生を語る	▲現代医学 ●地方創生の実務現場A
5	▲健康と医療の日本文化		▼大学生のためのプレゼンテーション基礎(1)		▼経済学D
6				★グローバルボランティア事前学習	
集中	★カレッジリンク@千葉B (T4～6)				

T3	集中	●地方創生の実務実習 ▲バイオエナジー入門	▲実務家によるキャリア・デザイン演習A ▲インクルーシブ・ビジネス入門		
----	----	--------------------------	--	--	--

	月	火	水	木	金
1			▼情報科学概論A		▼統計学A(3)(展開)
2			■観光を考える	■千葉の地域を知る ▲製品デザイン論	
3					
4	▼文献との対話 ▼統計学A(2)(展開)	▲地域ベンチャー起業論 ▼プレゼンテーション演習 ▼思考とコミュニケーションのプラクティス			▲実務家によるキャリア・デザイン入門2
5			▲緑と食の環境問題 ▼大学生のためのライティング基礎(2)		
集中	★カレッジリンク@千葉B (T4～6)				

	月	火	水	木	金
1			▼情報科学概論B		▼統計学A(3)(展開)
2	▲世界の中の日本、日本の中の世界		■観光を考える	■千葉の地域を知る ▲製品デザイン論	▼地域を知り、地域で企画する
3	▼統計学A(2)(展開)				
4		▲地域における起業を語る ▼プレゼンテーション演習 ▼思考とコミュニケーションのプラクティス		▼地域づくりの道具	●地方創生の実務現場B
5			▲緑と食の環境問題 ▼大学生のためのプレゼンテーション基礎(2)		
集中	★カレッジリンク@千葉B (T4～6)				

T6	集中	★カレッジリンク@千葉B (T4～6) ▼デザイン・シンキング入門	▲実務家によるキャリア・デザイン演習B ▲フード・システム・サービス・デザイン入門		
----	----	--------------------------------------	--	--	--

通期	集中	★地域 NPO 活動体験 ★グローバルボランティア (地域)	★地域志向インターンシップ ●地方創生の実務演習A	■ひととみどりをつなぐ ★ローカル・プロジェクト実習	
----	----	-----------------------------------	------------------------------	-------------------------------	--

履修モデル

地域産業イノベーション学の履修モデルを「バランス型」「理論型」「体験型」「他学部専門科目型」の4つで例示しています。

1 バランス型
推奨モデル

地域産業に関する科目をバランスよく学ぶ履修モデル

地域と暮らし	地域づくりを学ぶ	千葉を知る	産業イノベーションを考える	スキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	6	3	6	4	6	4	30

2 理論型

地域産業に関する内容をより理論的・体系的に学ぶ履修モデル

地域と暮らし	地域づくりを学ぶ	千葉を知る	産業イノベーションを考える	スキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	8	3	6	4	4	4	30

3 体験型

地域産業のことを体験的・実践的に学ぶ履修モデル

地域と暮らし	地域づくりを学ぶ	千葉を知る	産業イノベーションを考える	スキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	4	3	6	4	8	4	30

4 他学部専門科目型

地域産業に関する専門科目が少ない学部の履修モデル

地域と暮らし	地域づくりを学ぶ	千葉を知る	産業イノベーションを考える	スキルを学ぶ	PBL・実習型	専門教育科目	合計
1	4	2	6	3	4	10	30

ガイダンス日程

もっと詳しく知りたい人はガイダンスに参加してください。全学共通教育プログラム「コミュニティ再生ケア学」と合同で開催します。（昨年度参加した学生は参加する必要はありません）

「地域産業イノベーション学」履修ガイダンス

日時：2017年4月10日（月）・11日（火）・12日（水）・13日（木）・14日（金）
いずれも12:10～12:40（ランチ持参可）
場所：総合校舎 G4-54（4月10日のみイングリッシュ・ハウス）
※全学共通教育プログラム「コミュニティ再生ケア学」と合同で実施します。

「地域産業イノベーション学」履修相談会

日時：2017年4月10日（月）・11日（火）・12日（水）・13日（木）・14日（金）
いずれも13:00～17:00（上記履修ガイダンス時間を除く）
場所：コミュニティ・イノベーションオフィス（右ページ参照）
※全学共通教育プログラム「コミュニティ再生ケア学」と合同で実施します。

「地域NPO活動体験／地域志向型インターンシップ」合同履修ガイダンス

日時：2017年4月24日（月）・25日（火）・26日（水）
いずれも12:10～12:40（ランチ持参可）
場所：総合校舎 G4-54

「カレッジリンク@千葉B」履修ガイダンス

日時：2017年4月27日（木）・28日（金）
いずれも12:10～12:40（ランチ持参可）
場所：総合校舎 G4-54

最新情報はウェブで確認してください

<https://www.chiba-coc.jp/plus>
<https://www.facebook.com/cocpluschiba>

Q&A

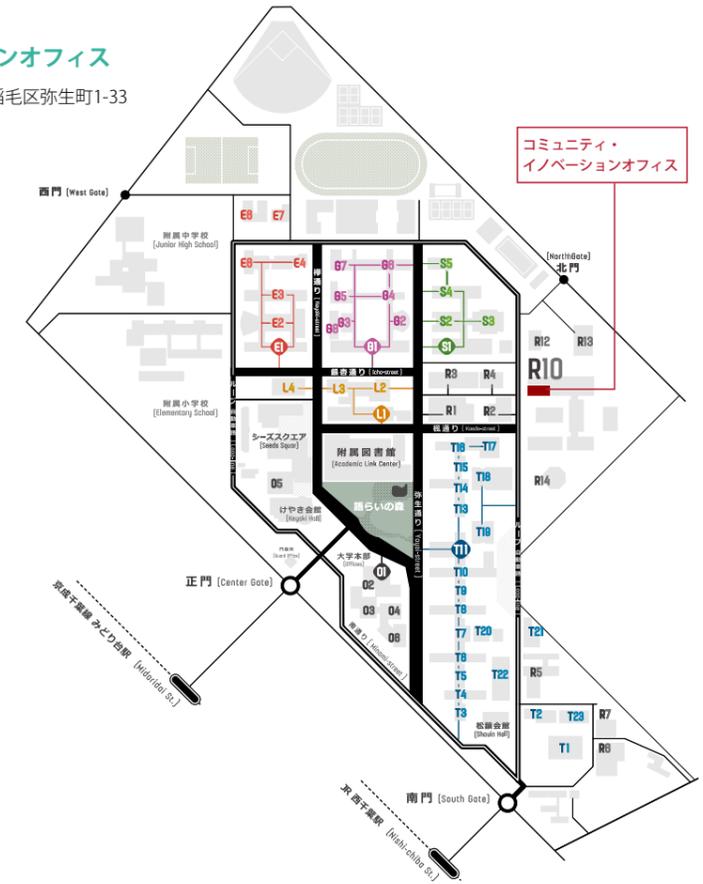
- Q1 地域産業イノベーション学の履修開始方法を教えてください。特別な申し込みが必要ですか。
- A1 はい。事前登録が必要です。詳しくは6ページの「地域産業イノベーション学の履修方法」をご覧ください。
- Q2 地域産業イノベーション学の履修登録は、どの学年からでも可能ですか。
- A2 はい。但し、指定科目により対象年次が決まっているものもあるので、シラバスで確認してください。なお、今年度は、大学院生は履修登録の対象としていません。
- Q3 現在、学部4年生です。1年間で地域産業イノベーション学の取得要件を満たすことはできますか。
- A3 はい。4年生以上は、修了証書取得要件のうち地域コア科目（1単位）を除く30単位を取得していれば可能です。但し、今年度開講していない科目もあるので注意してください。
- Q4 所属している学部の卒業要件に入らない単位であっても、地域産業イノベーション学の単位として認められますか。
- A4 はい。地域産業イノベーション学の指定科目であれば認めます。
- Q5 地域産業イノベーション学の指定科目のうち、2015年度以前に取得した単位は認められますか。
- A5 いいえ。同一科目名であっても単位認定はできません。これは、地域産業イノベーション学が2016年度から始まった副専攻であり、2015年度以前の科目に対しては指定科目として認定することができないためです。
- Q6 修了証書はいつ授与されますか。
- A6 卒業時に授与されます。詳しくは6ページをご覧ください。但し、3年次終了時まで取得要件を満たしている場合は、取得見込み証明書を発行します。
- Q7 指定された期間に地域産業イノベーション学の履修登録を忘れてしまいました。修了証書の発行は可能ですか。
- A7 いいえ。原則として、事前に履修登録をしていない場合は修了証書の発行はできませんので、コミュニティ・イノベーションオフィスに相談してください。
- Q8 地域産業イノベーション学の履修登録をしましたが、諸事情により履修を取り消したいと思っています。
- A8 地域産業イノベーション学のMoodleページから登録を外すことで可能です。
- Q9 修了証書はいらないが、地域産業イノベーション学の指定科目を受講したいのですが可能ですか。
- A9 はい。但し、受け入れ制限がある科目もあるので、担当教員に確認してください。
- Q10 地域産業イノベーション学の科目種別ごとの必要単位数を超えて、指定科目を受講できますか。
- A10 はい。但し、科目種別ごとの必要単位数の上限を超えて単位認定はされません。

オフィス案内

西千葉

千葉大学
コミュニティ・イノベーションオフィス

住所：〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
R10 学際研究棟1F
電話：043-251-1111（内線4144）
FAX：043-290-2148
メール：coc-p@chiba-u.jp



現地

横芝光町ローカルハブ

住所：〒289-1793 千葉県山武郡横芝光町宮川11902番地
（横芝光町役場敷地内）
電話：0479-85-5260
FAX：0479-85-5261



いすみ市ローカルハブ

住所：〒298-8501 千葉県いすみ市大原7400-1
（いすみ市役所内）

勝浦市ローカルハブ

住所：〒299-5292 千葉県勝浦市新宮1343-1
（勝浦市役所内）



地域産業イノベーション学 手引き 2017

2017年3月発行 発行：千葉大学 コミュニティ・イノベーションオフィス

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学西千葉キャンパス 学際研究棟1階 043-251-1111 (内線 4144) E-mail: coc-p@chiba-u.jp

<https://www.chiba-coc.jp/plus> <https://www.facebook.com/cocpluschiba/>

最新情報はウェブで確認してください